

令和8年度(2026年度) 博物館実習 日程表

No.	テーマ等	7/22	7/23	7/24	7/25	7/26	7/27	7/28	7/29	7/30	7/31	8/1	8/2	8/3	8/4	8/5	8/6	8/7	8/8	8/9	8/10	8/11	
		水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	
ア	<p>「地域資源を活用したフィールドミュージアム実習」</p> <p>当館は館内展示活動や資料整理だけでなく、博物館法第三条3項に示されるような、資料・研究に関わる専門知識や展示のノウハウを生かした、地域との連携活動を重視している。本コースでは様々な地域資源の発掘と活用、社会還元の手法を、実際の地域でのフィールドワークやワークショップを通して修得する。</p> <p>(担当:橋本・池田・福本・生野・田中・三宅)【定員:8名】</p>		②	③				④	⑤	⑥	⑦	⑧		⑨	⑩								
	セ職員・指導者	セ職員・指導者					ツキ等(AMエキマエコ)	エキマエアキチ等	エキマエアキチ等	事前学習	淡路キャラバン	淡路キャラバン		(里山エコツーリズム(野外))	(里山エコツーリズム(展示作製))								
イ	<p>「標本を知る・学ぶ:自然史標本に関する実習」</p> <p>自然史標本を対象とした収集・保存・調査研究活動の意義と実際を理解し、実践する。具体的には、昆虫や植物等の標本収集、作製、整理、登録等々、博物館活動の根幹である「標本」に関するさまざまな業務を行うほか、標本の新たな利用価値について考え、学ぶ。</p> <p>(担当:山崎・山田・李)【定員:3名】</p>		②	③			④	⑤	⑥						⑦	⑧	⑨	⑩					
	セ職員・指導者	セ職員・指導者					植物標本の作製	植物標本の整理	植物標本の登録						整理昆虫などクモ類標本の	整理昆虫などクモ類標本の	整理昆虫などクモ類標本の	維持物系収蔵庫の					
ウ	<p>「動植物の現地調査、資料整理、アウトリーチの実習」</p> <p>博物館だけでなく、様々な場面で役立つかもしれない多様な経験をするを目的に実習を行う。具体的には、野外での動物調査(ネズミ類)、シダ植物の標本作成と整理、アウトリーチ事業での昆虫や小動物などでのイベントの実習を行う。</p> <p>(担当:鈴木)【定員:3名】</p>			②			③	④				⑤		⑥		⑦		⑧	⑨		⑩		
	セ職員・指導者		シダ植物標本採集		セ職員・指導者	セ職員・指導者					イオンモール神戸北			シダ植物標本作成		吹田市立博物館		六甲山	六甲山		神戸市立森林植物園		
エ	<p>「自然史博物館の標本および展示製作技術の実習」</p> <p>博物館の実務で必要となる展示と資料の製作技術に関する実習を行う。デジタルコンテンツの製作、樹脂封入標本やプラスチック標本の作成を実際に行い、展示で利用可能なキットを作成する。また、アウトリーチ活動では、尼崎市にて外来生物の調査及び駆除を行う予定。</p> <p>(担当:三橋)【定員:10名】</p>	②	③	④	⑤		⑥	⑦	⑧	⑨	⑩												
	セ職員・指導者	セ職員・指導者	駆外除(生物の調査と)	3D標本の整理と		展示貝類標本の整理と	樹脂封入標本の作成	プラスチック標本作成	情報デジタル化と地理	展示作成、まとめ													
オ	<p>「自然×暮らし×工芸をつなぐミュージアムデザイン実習」</p> <p>当館は自然史を入口に、地域の暮らし・文化・産業(伝統工芸)と結びつく「人と自然のかかわり」を、展示・研究・教育普及を通じて伝えている。企画展やセミナーの準備を題材に、情報収集/整理→企画→体験要素を含む試作を通して、伝わるミュージアム表現を現場視点で学ぶ(小規模展示の企画も可)。</p> <p>(担当:衛藤)【定員:8名】</p>	②	③	④	⑤		⑥	⑦	⑧	⑨	⑩												
	イントロダクション	準備制作、セミナー	セミナー運営補助	展示制作、情報収集		セ職員・指導者	セ職員・指導者	企画・立案、試作	企画・立案、試作	企画・立案、試作	まとめ												

① オリエンテーション(全コース共通)

※ 上記日程は、変更となる場合がある。